

資料の性格が明確で内容が充実しています。

column

私たちは何を求めて、何にお金を払うのか

消費者と事業者が近くなったこと、起業やNPOの発足が容易になったことで、消費者の「もっとこんな商品があればいいのに」という声が商品化につながっている。これによりSNSを通じて消費者から意見を募り商品開発につながっている業者も多い。消費者が使いやすい商品、ニーズに応えるものが大衆的ではなく、独自の価値や目線で開発・提供されるようになった。

また、クラウドファンディングを通じ

て、消費者から支援を受け、よりよい商品の開発に取り組む団体や企業がある。写真は「100m先のコンビニに行くのも諦めてしまう」という車いす利用者の声を聞き、技術者が集まって起業し、開発された電動車いす。2011年にクラウドファンディングを通じ、50万円の投資を求めたところ100万円以上の投資があり、開発が決まった。これらの投資が増えるほど増産され、増産されると、よりリーズナブルな価格で市場に提供されるようになる。



開発された電動車いす

[社会的視点]

家庭総合 p.225
家庭基礎 p.159

本文の学習を理解したうえで、現代社会における新しい課題を考えるためのcolumn。

家庭総合 22例 家庭基礎 21例

column



[科学の視点]

家庭総合 p.171
家庭基礎 p.127

生活事象の「なぜ？」を科学的にとらえられる science eye。

家庭総合 9例 家庭基礎 10例



ドライクリーニングはどうして 水なしで汚れが落ちるの？

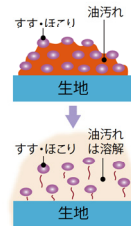
ドライクリーニング（乾式洗濯）とは、有機溶剤を用いた洗濯方法であり、水洗いでは落ちにくい油系汚れもよく落とすことができる。

有機溶剤とは、石油系、パークロロエチレンなどの有機溶剤で油の仲間である。油と水を一つのコップに入ると分離してしまうが、油同士だと混ざりやすい。これと同じ原理で油汚れも溶剤に溶かすことができ、

オイルの染みや口紅など普通の水洗いでは落ちにくい汚れも落とすことができる。

またドライクリーニングでは、機械力（遠心力）をかけられるので型くずれを起こさないというメリットがある。

ただし、同じ油と水の原理で、汗などの水溶性の汚れについては落ちにくいというデメリットもある。



参考

性同一性障がい

性同一性障がいは「身体の性」と、自分の性をどのように認識しているかという「性自認」とが一致せず、強い違和感をもち、日常生活でも困難を感じる状態をいう。2004年に施行された性同一性障害特例法により一定の要件を満たした者に戸籍の性別の変更が認められるようになった。

セクシュアル・マイノリティ

セクシュアル・マイノリティは性的少数者と訳される。一般的に、レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダー（略してLGBT）、性分化疾患（インターセックス）などといった人びとを指す。「マイノリティ」といった場合、単に人数が少ないというだけでなく、差別や構造の問題によって、社会的に弱い立場にある人をいう。日本では同性同士の婚姻は法的に認められていないが、LGBTであることを公表した上で、「結婚式」を挙げる人たちも現れてきている。2015年には、東京都渋谷区で同性パートナーシップ条例が成立した。



同性結婚式を挙げたタレントのカップル

[学習を深める]

家庭総合 p.15
家庭基礎 p.12

本文の学習内容を理解するうえで参考になるキーワードや事例を取り上げた参考。

家庭総合 54例 家庭基礎 39例

参考



[進路のヒントになる — キャリア教育]

家庭総合 p.88
家庭基礎 p.68

学習の内容に関連した将来の生き方・働き方を紹介する career。

家庭総合 14例 家庭基礎 13例

被災地のカーシェアリングから生まれるコミュニティ

キャリア career

2011年の東日本大震災で車を失い、生活面で不自由を感じていた人が石巻市にも大勢いました。そこで全国の個人や企業から車の寄付を募り、集まった車を貸し出し、共同で使っていただく支援活動を始めました。車の経費は利用者が実費を負担し、車の使い方については、利用者同士でルールを決める仕組みです。高齢者の送迎や乗合での買い物や旅行などにも活用され、単に移動だけでなく交流や高齢者の見守りなどの効果も生まれました。

2015年1月現在、約70台の車を活用し、カーシェアリングだけでなくNPOや生活困窮者等にも車の貸し出しを行っています。また、メーカーの協力の元、電気自動車(EV)の活用も始ま

りました。EVが移動式の蓄電池として活用できる特性を活かし、防災訓練で車から電気を取り出す訓練が仮設自治会で行われました。これから建設される災害公営住宅の一部では自然エネルギーでEVを充電するシステムがカーシェアリング用に導入されることも決まっています。車を一緒に使うことから地域の助け合いや関係が育まれ、可能性が広がる現場を何度も見ています。



吉澤武彦さん
日本カーシェアリング協会 代表理事

「社会的な視点」「科学的な視点」「学習を深める資料」「キャリア教育」の4つの観点で、資料を分類して掲載しています。これらの資料は、授業を充実させ、高校生が主体的に社会に踏み出し

ていくための指針となります。

さらに、他教科との関連や、小論文対策など、さまざまな活用ができます。